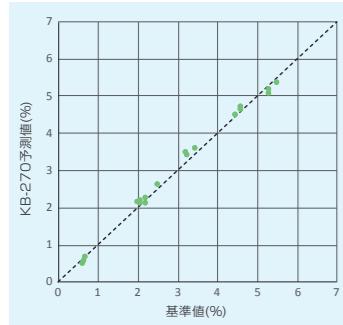


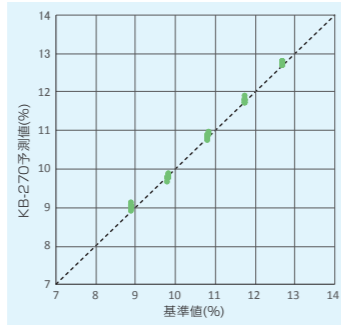
■ 基準値(公定法での値)とKB-270予測値の比較

※ 下記はあくまで検量線作成試験結果の一例です。同種のサンプルにおいて、同一の結果が得られることを保証するものではありません。

サンプル:クッキー 成分:水分 サンプル:小麦粉 成分:タンパク

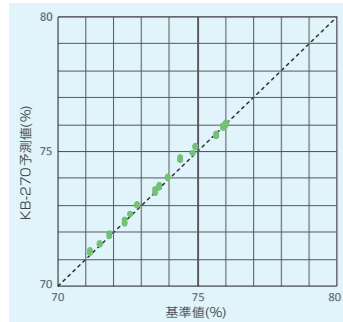


相関係数:0.997 標準誤差:0.135



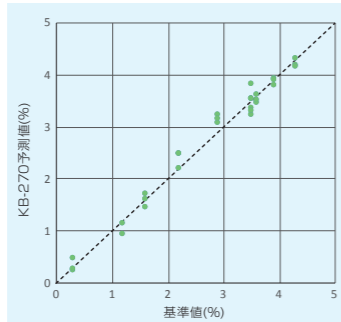
相関係数:0.999 標準誤差:0.070

サンプル:小麦粉 成分:炭水化物



相関係数:0.997 標準誤差:0.115

サンプル:牛乳 成分:乳脂肪分



相関係数:0.991 標準誤差:0.172

■ 仕様

測定方式	近赤外底面投受光反射式
分光方式	フィルター分光方式
測定スポット	直径約25mm
チャンネル数	50(1CH×4成分同時測定)
測定時間	通常測定:9秒(設定により異なる) 連続測定:0.5秒周期
ディスプレイ	有機ELディスプレイ
入出力	USB(PC入出力)、RS-232C(プリンタ出力)、LAN
光源	タングステンランプ
使用温湿度範囲	5~35℃(結露なきこと)、30~80%RH
電源	AC100-240V(50/60Hz) 40W
寸法・重量	415(W)×370(D)×230(H)mm・12kg
付属品	遮光蓋、サンプルセル(ガラスシャーレφ90mm)、サンプルセルホルダ、校正板、電源ケーブル、予備ヒューズ、無線LANルータ、PCソフトウェア、取扱説明書

■ オプション



プリンタVZ-800

紙幅58mmの感熱式プリンタです。測定結果をすばやく印字できます。



大型ガラスシャーレ(φ150mm)



マスキングホルダ(穴径任意)+ 小型ガラスシャーレ(φ30mm)



深型遮光蓋



反射板



SCIENCE OF SENSING
測定器のケツトです。



成分分析機器

近赤外成分計
KB-270

一度に見えるものは、
ひとつじゃない。



株式会社ケツト科学研究所

sales@kett.co.jp
http://www.kett.co.jp/

東京本社 東京都大田区南馬込1-8-1 〒143-8507 ☎03-3776-1111 ☎03-3772-3001
大阪支店 大阪市東淀川区東中島4-4-10 〒533-0033 ☎06-6323-4581 ☎06-6323-4585
札幌営業所 札幌市西区八軒一条西3-1-1 〒063-0841 ☎011-611-9441 ☎011-631-9866
仙台営業所 〒980-0802 仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル ☎022-215-6806 ☎022-215-6809
名古屋営業所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル ☎052-551-2629 ☎052-561-5677
九州営業所 〒841-0035 佐賀県鳥栖市東町1-1020-2 ☎0942-84-9011 ☎0942-84-9012

ご用命は



この印刷物は環境への配慮から「植物油インキ」と「再生紙」を使用しています。

製品改良のため、仕様や外観の一部を予告なく変更することがあります。また、製品の色調は印刷のため実物とは異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。1909-KA-0201-003K

一般的に、成分分析には時間がかかります。どんなに優れた分析手法も1日に得られるデータには限りがあります。しかしながら、時間短縮の方法もあります。

——近赤外成分計を使用することで、
近赤外成分計にあらかじめ成分分析値に相関した検量線を登録しておく、数秒で成分含有率がわかります。

本器「近赤外成分計KB-270」は、特性の異なる多波長の近赤外反射吸光度を用いることで、一回の測定で最大4成分までを同時に、やはり数秒で測定できます。

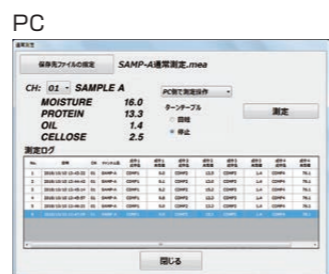
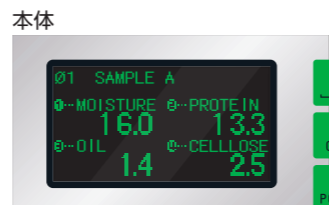
また、サンプルの形状、粒径のばらつきの影響を受けにくい、ため破砕や粉碎等の前処理が不要な場合が多く、オプションのマスクホルダを使用すると貴重な少量サンプルでも測定が可能です。

一回の測定が大幅に短縮されることで、対象物の製造ラインへ即時に反映できるため、製造ロスの軽減につながります。また、データ点数が増えることで、1日ごとあるいは季節ごとの成分変動傾向を読み取りやすくなるため、製造品質の向上も期待できます。



●即時応答

①測定窓にサンプルを載せ、②遮光蓋を閉め、③測定ボタンを押します。約9秒で成分が表示されます。



●2種類の測定モード搭載

設定した測定回数の平均値が表示される「通常測定モード」と、成分の経時変化を確認できる「連続測定モード」があります。PC上でグラフ表示も可能です。

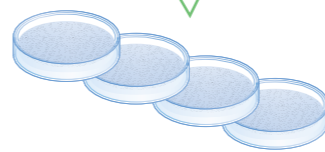


●検量線作成機能

付属のPCソフトウェアを使用して、PLS計算による検量線作成がかんたんに行えます。

検量線作成の3ステップ

1 成分値の異なる複数のサンプルを準備してそれぞれの成分値(基準値)を把握しておく

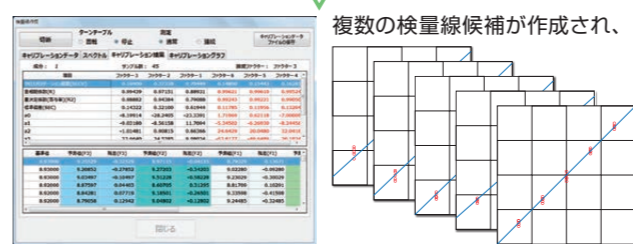


2 本器で吸光度を読み取る



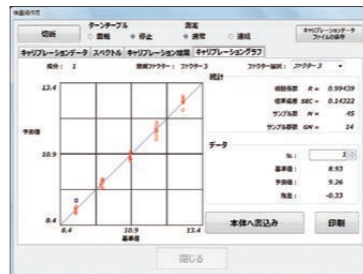
3 各サンプルの基準値を入力する

PLS計算



検量線の完成

複数候補の中から最も実用に適した検量線が自動選択されます。



●選べる測定方法

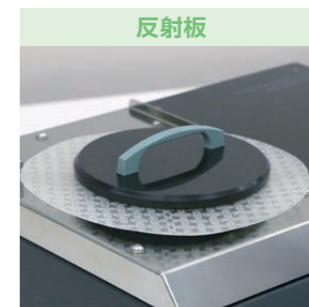
付属のガラスシャーレをサンプルセルとして使用するのももちろん、サンプルによってはじか置きも可能です。シート状のサンプルは反射板*を載せたり、貴重で少量なサンプルはマスクホルダ*を使用したり、用意された豊富な測定方法から選べます。 ※オプション



ガラスシャーレ: 穀物など
粒、粉、ペースト、形状が不均一なもの等に適しています。



じか置き: 乾麺など
測定窓が汚れない大型固形物に適しています。



反射板
大きなシート状のサンプルの測定で反射板を使用する際には、遮光蓋を外すことで、測定箇所の自由度が上がり、測定がより容易になります。マスクホルダで用いるシャーレはφ30mmです。測定スポットとなる穴径は通常φ25mmですが、ご希望のサイズでの注文も可能です。



マスクホルダ

水分のみの測定には

水分のみを測定したい時は、ポリ袋やポリシートをサンプルセルとして使用できる場合があります。シャーレが汚れやすい粉状サンプルなどは包装のまま、測定窓が汚れやすい固形サンプルも置くだけで簡単に水分測定が可能です。



ポリ袋: 小麦粉など



ポリシート: チョコレートなど

●さまざまな測定対象に

農産物、食品原料、加工品、医薬品、紙、鉱物などあらゆる物質、粉体、ペーストなど種類・材質も問いません。

※いずれも検量線の作成が必要です。

